

えがお



P 1～2……12月定例会

P 12……議員発議 など

P 15……笑顔がキラリ、まちを歩いて

P 3～4……常任委員会

P 13～14……議会のうごき など

P 5～11……一般質問



12月定例会

令和6年12月定例会は、11月28日から12月20日まで開催され、条例6件、補正予算8件、議員発議1件、その他2件を審議しました。

補正予算(主なもの)

一般会計 9億223万1千円を増額

消火栓整備負担金

99万7千円

水道法第24条第2項の規定により、市は消火栓を設置した水道事業者に対し、その消火栓の設置および管理に関する費用等を当該水道事業者との協議により、相当額を補償しなければならないとされていることから、上天草市水道事業管理者が行った消火栓の修繕2件分（姫浦地区、阿村地区）にかかる費用を市が補償するもの。



▲消火栓取替修繕（阿村地区）

子ども医療費助成金

1,122万6千円

この事業は子供の疾病の早期治療を促進し、その健康の保持および健全な育成と子育て支援を図るため、子供の医療費の一部負担金に対して助成するもので、インフルエンザなどの流行による医療費の増加傾向が見込まれるため増額するもの。



現年発生農地等災害復旧事業費

5,628万1千円

台風や大雨により被害のあった農道、農地、農業用水路など4件（亀の迫地区農道、谷地区農地、大手原地区水路、船江地区農地）を復旧するもの。



▲谷地区農地

教員住宅解体工事費

674万3千円

湯島教員住宅3棟の解体工事において、人件費および物価高騰の影響と、現場への機械搬入が難しく人力による作業となり、工事費が増加するもの。



▲湯島の教員住宅

条例改正

★上天草市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について

人口減少に伴う大道出張所の利用状況の低下および施設の老朽化を踏まえ、当該出張所を廃止とするもの。

可決

★上天草市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

人口減少に伴う汚水の処理量の減少、下水道施設の老朽化を踏まえ、下水道事業の経営の基盤となる下水道使用料の増収を図るなどのため一部を改正するもの。

可決

(改正前)

	使用料（1か月につき）			
	基本料金		従量料金（1㎡につき）	
	排水量	金額	排水量	金額
水道水使用	5㎡	1,138.5円	5㎡を超える排水1㎡につき	177.1円

(改正後)

	使用料（1か月につき）			
	基本料金		従量料金（1㎡につき）	
	排水量	金額	排水量	金額
水道水使用	5㎡	1,309円	5㎡を超える排水1㎡につき	203.5円

議案質疑

提出された議案に対する質疑の一部を要約して掲載します。



議案質疑の動画

上天草市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について

問 廃止後の対応についてどう考えておられるのか。

答 地元区長説明会とパブリックコメントで出された意見を踏まえ、当初の方針を見直し大道出張所の廃止を令和7年4月から同年10月に変更するとともに、代替サービスとして、職員による各種証明書の宅配サービス、大道郵便局における行政文書の受付を新たに導入します。関係機関と協議を行っており、コンプライアンスを遵守した新たな公共サービスとして、今後展開したいと考えています。

▲大道出張所

上天草市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

問 料金改定によって、どれくらいの増収となるか試算しておられるか。また、平均世帯でのひと月の使用料はどのくらい上がると試算されているか。

答 年間約900万円程度の増収を見込んでいます。一世帯における平均下水道使用料20立方メートルと比較した場合、使用料金3795円（税込）から、4361円（税込）となり、ひと月当たり566円、年間で6792円の負担が増える見込みです。

問 下水道利用者と比べて浄化槽利用者の方が負担が高いと思われるが、今回の改定での比較はどうか。

答 合併処理浄化槽で設置が多い5人槽の令和5年度にかかる平均的な維持管理費を比較した場合、下水道使用料は年間5万2332円、合併処理浄化槽は年間5万8250円となり、合併浄化槽が年間で5918円、ひと月当たり約493円高くなります。

常任委員会

会議で委員会に付託された議案等について、常任委員会で審査しました。
その経過と結果について報告します。(主なもの)

総務常任委員会

上天草市支所及び出張所設置
条例の一部を改正する
条例の制定について

可決

問 大道出張所の廃止に伴い、郵便局へ業務の一部を委託するところだが、委託する内容は。また、職員による宅配サービスも実施するとのことだが、当面の間のみの実施とされるのか、それとも継続して実施されるのか。

答 郵便局に委託する業務については、以前パブリックコメントを実施した中でいただいた意見をもとにはりきゆうマッサージの申請書など約18種類の行政文書の受付を実施できるよう検討しています。また、宅配サービスについては、終期の設定は現在していませんが、今後、地元区長の意見を聞きながら検討していきたいと考えています。

問 今後、大道以外
の出張所の在り方について、どのような



に考えているか。

答 大道出張所が出張所機能単独なのに対し、その他の出張所は複合施設であることや、立地的な部分などの課題があるため、出張所の在り方については、大道出張所廃止後の宅配サービス等を検証した上で、必要に応じて検討していきたいと考えています。

文教厚生常任委員会

現地踏査

スパ・タラソ天草および大矢野中学校北棟について、文教厚生常任委員会で現地確認を行いました。



▲スパ・タラソ天草

経済建設常任委員会

上天草市下水道条例の
一部を改正する条例の
制定について

可決

問 今回の改正にあたり、値上げの根拠は。

答 料金改定の積算根拠につきましては、過去5年間の使用料収入と事業運営経費の状況をもとに、令和5年度から令和8年度の4か年の収支見込みを策定した上で料金の改定案を作成し、10月に開催した上天草市下水道運営審議会において、現行料金から15%程度引き上げる案が妥当であるとの答申を受け、料金を策定しました。



▲大矢野中学校北棟

予算決算常任委員会

令和6年度上天草市一般
会計補正予算（第3号）

可決

【まちづくり事業推進助成金50万
円の減額について】

問 減額の理由は。



答 当初予算で、2件分の予算を計上していましたが、応募が1件であつたため減額しています。現在、令和7年度に向けて募集を行つており、3団体から4事業の問い合わせがあつています。



▲龍ヶ岳夕市（令和6年度交付事業）

【中学校部活動地域移行コーディネーター報酬51万円および地域スポーツクラブ指導者謝金31万7千円について】

問 当該コーディネーターおよび指導者を登用するに至つた経緯や役割は。

答 コーディネーターの役割として、令和8年度までに、中学校の土曜日、日曜日の部活動を地域へ移行する予定となつており、スムーズな地域移行のため、様々な課題解決や環境整備について調整していく役目です。また、指導者については、モデル的に先行して実施された団体の指導者に対する謝金となります。

問 地域移行を推進するにあたり、コーディネーターや指導者は非常に重要な役割を担うことになり、スポーツ指導者バンクへの登録や選定にあたる基準等が明確化されていない現在の状況を鑑みると、きちんと整備されたのち予算化すべきではないか。

答 適切な指導者の確保の観点等から、スポーツ指導者バンクへの登

録も実施していきます。



▲姫戸中学校剣道部

【老人ホーム入所措置事業120万9千円について】

問 措置費増額の主な理由は。

答 以前は、市内の養護老人ホームへの入所を希望され、長期間待機される方が多かつたが、現在の傾向は、市外の比較的早期に入所できる施設への希望や相談も増えており、措置人員の増加による増額となります。

【上天草市橋梁長寿命化修繕計画更新事業1200万円について】

問 上天草市橋梁寿命化修繕計画更新事業については、9月議会で補正予算として計上されていたが、繰り越しとなつた理由は。

答 上天草市橋梁長寿命化修繕計画の見直しにあたり、新たに取り組む部分、見直す部分の調整に時間を要したことから繰り越しとさせていただきます。



【市宮下桶川団地浄化槽改修事業3009万5千円について】

問 9月議会で補正予算として計上されていたが、繰り越しとなつた理由は。

答 入札を2回実施しましたが、2回とも不落となつたため、適正な工期を確保できないことから繰り越しとさせていただきます。

一般質問

12月定例会では12人の議員が一般質問を行いました。

日程	議員氏名	質問事項
12 ／ 13	何川 雅彦	▶ 郵便局の地域活性について ▶ 地域エネルギー事業について ▶ 宮津地区開発について
	小西 涼司	▶ 松林の保安全管理について ▶ オルレコースについて
	北垣 洋	▶ 姫戸・龍ヶ岳地区の今後の観光振興について ▶ 有害鳥獣の処理施設の必要性について
	宮下 昌子	▶ 国民健康保険税の子ども均等割軽減について ▶ 高齢者福祉（補聴器・冷暖房補助）について ▶ 小中学校体育館の空調設備設置について
	井手口隆光	▶ 「本と歴史の交流館イコット」の運営について ▶ スポーツ合宿による地域振興について ▶ 地元企業を活用した地域振興について ▶ 鳥獣被害におけるシカ対策について
12 ／ 16	嶋元 秀司	▶ 上天草市障がい児福祉の現状と取り組みについて ▶ 上天草市内の道路補修の要望について ▶ スパ・タラソ天草の営業について
	田中 万里	▶ 地震災害時の水道水供給について ▶ 管内学校給食の現状について ▶ 5歳児健診のその後の見解について
	木下 文宣	▶ 小・中学校体育館への空調設備の設置について ▶ 通学路の環境整備について ▶ 上天草総合病院におけるキャッシュレス決済の導入について
	高橋 健	▶ スパ・タラソ天草について ▶ 上天草市における子育て支援策について
	田中 辰夫	▶ 住宅リフォーム支援事業について（土木費・住宅対策費） ▶ 防災全般について ▶ イノシシ対策について
12 ／ 17	塩田 真一	▶ 本と歴史の交流館「イコット」について ▶ 市の防災対策等について
	西本 輝幸	▶ 衛星による漏水検知技術の活用について

一般質問の動画を配信しています！

●注意（免責）事項●

- ・ 配信している映像は本市議会の公式記録ではありません。公式記録は会議録をご覧ください。
- ・ 発言の訂正や取り消しが行われた場合、当該箇所の映像や音声が消去される場合があります。
- ・ 視聴には大量のデータ通信が発生しますので、Wi-Fi接続や定額通信サービス環境での視聴を推奨します。



YouTube で公開中



宮津地区開発の供用開始は



令和11年度を目指します

11 住み続けられるまちづくりを



【宮津地区開発について】

何川 本年度実施のPFI等の導入可能性調査を通じて、PFI等の実施の可否はいつ頃分かるのか。

副市長 事業終了時の本年度末頃までに判明をさせていきたいと考えています。

何川 宮津地区開発をPFI等で実施するとした場合、令和7年度以降の予算措置と供用開始までのスケジュールは。

副市長 本年度の調査結果を踏まえ、宮津地区開発をPFI方式で実施する場合、アドバイザー業務を委託し、その委託料を来年度予算に計上予定です。スケジュール案としては、令和7年度に実施方針や要求水準書案の作成・公表、令和8年度に特定事業の選定や入札公告、令和9年度に委託契約を締結し事業開始、令和11年度中の供用開始を目指しています。

【郵便局ネットワークによる地域活性化について】



郵便局は法律によって設置が義務付けられている。民間事業者が撤退した場合に住民サービスを補完する役割が今後模索される。

何川 先の研修では、総務省から郵便局の地域活用について説明を受け、全国の地方での郵便局において、行政サービスの代行、オンライン診療の実施、買い物支援、防災倉庫としての活用、郵便配達車両を活用した水道検針などの事例を示された。全国にまたがる郵便局ネットワークを活用して、地方の活性化の実現に向け、本市は何か具体的な検討を進めていくのか。

副市長 現在、郵便局を活用した地域活性化について意見等を収集しています。総務省も郵便局を活用した住民利便性向上や地域活性化を来年度予算で計画しており、本市でも予算化された場合の活用を検討し、具体策を進めてまいります。



松くい虫被害の現状は



特に天草五橋周辺の被害が多い

11 住み続けられるまちづくりを



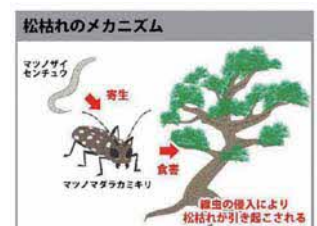
【森林の保全管理について】

小西 令和6年度は、松くい虫の被害が千歳山、前島、仏島、池島、永浦島、大矢野島など五橋周辺を中心に、昨年より被害が拡大しているようだが、被害の現状はどうなのか。

経済振興部長 令和6年10月時点での被害量は、松島地区において約2300本、323立方メートル、大矢野町においては約2370本、237立方メートル程度の被害を把握しています。特に、天草五橋周辺の被害が多く確認できる状況で、現在、増加傾向にあるということで認識しています。

小西 松は本市の市木でもあり、白い砂と青々とした松によって形成される美しい海岸風景に例えられ、日本の「白砂青松100選」にも選定され、観光資源としても重要な松を守っていくことは本市としても当然のことである。防除事業の予算はどう推移しているのか。

経済振興部長 予算について



▲松枯れのメカニズム

は、被害の拡大および物価高騰等の理由により、年々増加しており、令和6年度からは地上散布を2回実施したことから、令和2年度予算1208万円に対し、令和6年度予算は2370万円と約2倍になっています。

小西 財源の中身についてはどうなのか。

経済振興部長 地上散布、伐倒駆除2種については、県の補助が60%以内、衛生伐は、国の補助が50%で県の補助が20%の合計70%が補助されることとなっています。

小西 宮城県の松島、長崎県の九十九島と並び、日本三大松島と呼ばれている「天草松島」の景観を維持していくためにも、松林の保全体制を整備し、貴重な松の保全化の推進に努めていただきたい。



北垣 洋 議員



有害鳥獣対策の大きな課題、処理施設の必要性は



適切な時期に検討を行うとしたい



【姫戸・龍ヶ岳地区の今後の観光振興について】

北垣 県内の自治体では、大手アウトドアメーカーと協定を結び、観光振興につなげている自治体もあるようだが、本市もそのような協定を結ぶ考えはないか。

副市長 本市は、自然を活用したアクティビティやキャンプ場も多く、連携した取組みが可能であれば、更なる観光振興に繋がるものと考えているところです。協定・連携により、地域活性化や自然環境の保全など、多くの利点がある一方、連携を継続するうえで費用がかさみ、財政負担となっているケースもあるようなので、メリット・デメリットを精査し、市内外の関係機関と協議を行い、協定・連携が可能か模索して参りたいと思います。

【有害鳥獣の処理施設の必要性について】

北垣 有害鳥獣の処理は、今後、市の有害鳥獣対策を進め



▲イノシシの埋設

る上で大きな課題になってくると考える。資源流出、捕獲者の埋設作業の負担軽減、また、環境保全を考えた場合に、公営の処理場が必要ではないかと考えるが見解は。

経済振興部長 提案のとおり、公営の処理場が必要と認識しているところですが、建設場所の確保、施設の運営方法およびランニングコスト等の様々な課題があり、現段階で公設の処理場確保に取り組むことは難しいものと思っております。将来、イノシシ捕獲の取組に支障をきたさないためにも、国・県の取組みや、他の自治体の状況、猟友会の意見を確認しながら、公営の処理場について適切な時期に検討を行うこととしたいと考えております。



宮下 昌子 議員



加齢性難聴者への補聴器補助について検討はしたのか



そんなに額がかからないなら検討の余地はある



【高齢者福祉（補聴器・冷暖房補助）について】

宮下 加齢性難聴者への補聴器補助について昨年3月議会でご要望したが、その後どう検討されたのか。また、試算はされているのか。

健康福祉部長 現時点では、結論に至っていません。また、試算については、1台当たり3万円とした場合、1350万円としています。

宮下 県内の先進地の調査はしておられないのか。益城町では、毎年上限3万円で20人分、合計60万円の予算を組んでおられる。そんなに大きな金額ではないと思うが、本市ですぐにできることではないのか。

健康福祉部長 益城町の例をとりますと、高齢者の人口がほぼ同程度と考えられるかもしれませんが、五木村の例（片耳5万円、両耳10万円上限）では、2400万円必要となり、試算した程度の財源は一応準備していく必要があるのではと思います。

宮下 1000万円とか20

00万円の予算を組めと言っているわけではない。益城町では、年間60万円の予算でやられているわけで、そこから始めればいいのではないかと。できるところからやれば、市民の皆さんも喜ばれ、かつ、認知症の予防にもなると思うが。

市長 それほど額がかからないのであれば、検討の余地はあるのかなと思います。ただ、自主財源を充てるべき部分になってくるので、税制の改革で自主財源がどの程度の影響を与えるのかというのが見えていない部分もあり、現在、来年度の予算編成に向けて影響を考えている状況です。しかしそうは言っても、できるだけ影響のない範囲内で検討が出来ればというふうに思います。





井手口 隆光 議員



企業イメージを生かす 取組の推進を A メリットある連携の 実現ができる



【地元企業を活用した地域振興について】

井手口 行政に一番大事なものはデータ。国の統計はもちろん、地元事業所を訪問して現状の把握、意見や要望などのヒアリングが必要と考える。

経済振興部長 誘致企業連絡協議会の事業所へは年に2回ほど訪問しており、有益な情報などは各事業所へ提供しています。

井手口 市と連携した企業イメージを生かす取組方針は。
総務部長 ネーミングライツの活用を積極的に推進していきたいと思います。

経済振興部長 地域イベントの共催、地域資源を生かした商品開発、教育研修プログラムの提供、地域の美化環境保全活動等、行政と企業双方にメリットのある連携が実現できると考えます。

井手口 地域経済の振興を図るうえで、幅広い分野の企業が地元で頑張れる、頑張ろうと思えることが大事。地元企業が盛り上げれば地域にも元気が出る。企業側と検討して

できることはやってほしい。
【鳥獣被害におけるシカ対策について】

井手口 鳥獣被害対策に詳しい方に、イノシシよりシカ対策が大変だと聞いた。現状をどの程度把握しているか。

経済振興部長 上天草市内（天草全域）での目撃情報が令和5年度2件（天草全域で21件）、令和6年度3件（天草全域で6件）ですが被害報告はありません。

井手口 現状を踏まえ、対策の必要性についての見解は。
経済振興部長 天草管内シカ被害防止対策協議会で、情報の収集、関係市町村・団体と情報を共有し対策を検討しています。



▲平成30年11月頃に松島町教良木野々川美濃地区で撮影されたもの

井手口 行政サービスの質を高め、住んで良かった、来てよかった、上天草を選んでよかったと思える行動ができたら最良である。



嶋元 秀司 議員



障がい児福祉、民間事業者参入を促す考えは A 市も協力し働きかけていきたい



【上天草市障がい児福祉の現状と取組について】

嶋元 地域療育通園事業「キラキラ仲間」について、現状、松島の保健センター内で事業が引き継がれているが、以前より変更された点はあるか。また、以前のように単体での施設運営を望む意見や、民間事業者の参入についてはどのような見解か。

健康福祉部長 「キラキラ仲間」の療育事業については、児童が療育に集中できるように環境確保に努め配慮を行いながら活動を行っています。以前より療育回数・事業内容等に大きな変更点はありません。市で実施している療育事業については、単体で活動できる施設の確保が難しく、事業実施可能な民間事業者が参入されることは市としても望んでいます。身近な地域である市内での民間事業所開設を促すため、市内事業者や関係機関に出向き、働きかけ協議を行っているところです。

【スパ・タラソ天草の営業について】

嶋元 今回、営業停止に至った経緯と原因について、どのように分析しているか。また、衛生面等で深く認識を改める必要があると考えるが、今後改善に向け、どのように取り組んでいくか。

健康福祉部長 レジオネラ菌の検出に伴う営業停止につきましては、このような事態を招き、多くの施設利用者を迷惑、ご心配をおかけしましたことに対しお詫び申し上げます。原因については、源泉タンクの外気遮断や温泉水の塩素消毒等衛生管理が徹底されていなかったことが大きな要因と考えます。今後の対応としては、衛生管理を徹底することが一番重要と考えており、市としても清掃状況、点検等の確認を行うこととして





就学前の5歳児健診の実施



令和7年度に実施します

田中 万里 議員

4 質の高い教育を
みんなに



【5歳児健診のその後の見解について】

田中 6月議会において、5歳児健診の必要性を質問したが、その後の経過と今後の見通しは。特に、小学校入学前の保護者の不安解消につながるための具体的な方策や、発達相談員の円滑な移行を促進するための取組について、市の見解は。

健康福祉部長 5歳児健診の必要性につきましては十分認識しています。課題に上げておりました医師等の確保につきまして、他自治体の情報や国のマニュアル等を参考にするとともに、熊本県南部発達障がい者支援センターに助言を頂き、現在まで医師、療育相談員および心理士については、内諾を得ているところであります。今後、実施体制および実施方法について協議を進め、子育て支援策として、令和7年度に実施することとしております。

田中 実現すれば、県内14市

の中でも早い段階での5歳児健診の実施であり、本市の子育て支援策の更なる拡充にもつながることだと期待している。また、就学前健診は子育て支援だけではなく、支援が必要な子供の状況の早期発見にもつながり、学校での先生方の支援の在り方や接し方などにも広く役立つかと思う。そして、それが先生方の負担軽減にもつながり、教職員の働き方改革の一助になるのではと感じている。

教育長 5歳児健診については、入学前の就学時健診の前の段階として、この段階の発達障害等の早期発見につながっていくと思います。なので、就学後の支援の一助にもなるなというふうに認識をさせていただきました。

田中 保護者にとつては、小学校1年生に上がるときには

期待と不安が入り乱れるため、その中で安心して義務教育への第1歩として進めるように取り組んでいただきたい。



上天草総合病院におけるキャッシュレス決済の導入予定は



導入に向けて本格的な検討を行っている

木下 文宣 議員

11 住民に届けられる
まちづくり



【上天草総合病院におけるキャッシュレス決済の導入について】

木下 現状の診療費の受取方法、キャッシュレス決済の病院側、患者双方のメリット・デメリット、また、今後導入する予定は。

病院事務長 診療費は現在現金のみの決済となっています。患者様側のメリットとしては、会計時現金を渡す必要がないことから、支払いがスムーズになったり、支払いが高額になった場合、多額の現金を準備する必要がなくなり、盗難や紛失のリスクが軽減されるなどの高い効果が期待できます。デメリットについては、クレジットカードを発行する手間や、端末操作方法が分からないなどのケースが考えられます。また、病院側のデメリットとしては、導入時の初期費用などを想定しています。電子マネーなどの支払方法の導入については、経営会議において了承を得たため、今後関係部署とともに導入に向けた具体的な調整をスタートすることとなっています。

【小・中学校体育館への空調設備の設置について】

木下 現在の設置状況および全校設置に向けての考えは。

教育部長 現在、体育館にエアコン等の空調設備を整備している学校はありませんが、屋内競技における熱中症事故を防ぐ有効な手段であり、文部科学省においても体育館への空調施設整備の補助率を引き上げるなど積極的な導入が推進されています。また多くの体育館は災害時の避難場所として指定されており、緊急防災・減災事業債も活用できることを踏まえ、これらの補助等を活用した空調設備を検討しています。

市長 昨今の気温上昇を鑑みると、体育館に空調設備を導入する時期にきていると感じています。導入には、10億円以上かかるという試算がありますが、優先順位を付け導入ができるような計画を検討せざるを得ないと思っています。

木下 現在、各学校の教室に設置している空調設備と同様の設備と併設して温度を下げる設備を設置するなど比較的安全で設置している事例も多々ある。費用対効果を考え、体育館の規模にあった整備内容を検討し、いち早い整備が必要と考える。



高橋 健 議員



過去5年間の出生数の推移は



令和元年が143人、2年が141人、3年が128人、4年が108人、5年が109人

11 住み続けられるまちづくりを



【上天草市における子育て支援策について】

高橋 この質問に至るまでの経緯として、市民の方から「上天草総合病院に産科をもつ1回お願いします。どうにかできませんか。」という電話があったことがある。産科を再開させるためには、1億2000万円程度かかり、医師の確保も相当難しいということ、それならば、その金額を今から生まれてくる子供たちに使った方がいいと私なりに考え、過去5年間の本市における出生率を調べていくと驚愕な事実を目の当たりにし、私は茫然とした。この数字は出生数だけであり、死亡者数、転居者数を見ていくととても恐ろしい数字となり、過疎化の加速度が目に見え、消滅自治体という言葉があるが、すぐそこまで迫ってきていることが実感できる。では、令和元年度から令和5年度までの子育て支援に係る市の予算は。

健康福祉部長

令和元年度が19億9377万2000円、令和2年度が19億7799万8000円、令和3年度が23億4061万5000円、令和3年度が21億7631万2000円、令和5年度が21

億5757万となっておりま

す。(※人件費および解体費等は含むため、実際の事業費は半分位と予測される。)

高橋

年間平均して20億円、5年間で100億円使われている。しかし、令和元年が143人、令和5年が109人

と出生数は34名減少しており、この問題に関しては、成果を上げている自治体自体少なく、また、予算は増加しているが効果がないというのが現状である。そのため、この20億円の予算をもう一度見直し、令和7年度の予算編成に取り組んで頂きたい。私も18年前に1回しかない人生だから、生まれた上天草のために何かやりたい、どうにか頑張りたいという思いで議員になった。そういった中で、永久的に上天草市を残そうとしたときに、今、10年後20年後に向けて子育て支援策をやらないと、後悔しか残らないと思っている。しかし、効果が見られないというのが現状のため、子育て支援策だけに任せるのではなく、やはり職員全員一丸となってプロジェクトチームを形成して頂き、少しでも少子化問題が解決に向かうように真剣に取り組んで頂くことを切に願います。

この文字で正しいですか？



田中 辰夫 議員



いつ起こるか分からない災害についての対策は



3日間には備えた物で生き残る準備は絶対必要

11 住み続けられるまちづくりを



【住宅リフォーム支援事業について】

田中 本事業の内容は。

建設部長

市民の住環境の向上および市経済の活性化を図ることを目的に、住宅1軒につき1回限り、リフォームや空き家解体にかかる費用の一部を補助金として交付しています。

田中 この補助金は、市民からのニーズは高いと思うが、担当課の考えは。

建設部長 市民の関心やニーズは高いものと認識しています。本市では、住宅に関する支援制度として、浄化槽設置助成事業・空き家等対策事業・土砂災害危険住宅移転促進事業・戸建て木造住宅耐震化支援事業・危険ブロック塀撤去支援事業などがありますので、詳細につきましては、担当課の都市整備課(松島庁舎)のほうにご相談頂ければと思います。

【防災全般について】

田中 近年における大規模災害を経験して、教訓としたこと

とや市民の災害意識を高めるための方策は。

総務部長 能登半島地震で土砂崩れに伴う道路の寸断などにより、多くの孤立地域が発生したことが教訓になりました。天草五橋などの橋梁が通行不能により、孤立地域が発生した場合を想定し、海上や航空輸送により受け入れる訓練を実施いたします。また、市民の災害意識を高める方策としては、自主防災組織研修会や防災出前講座などを活用した地域リーダーの育成、防災マップを活用した災害時リスクの周知や地区防災計画の策定支援などに取り組んでまいります。

【イノシシ対策について】

田中 イノシシの処理場整備は考えていないのか。

経済振興部長 現時点では、公設の処理場確保に取り組むことは、なかなか難しいと考えています。





災害時のボランティアセンターの設置は 社会福祉協議会と協定を結んでいる

塩田 真一 議員

11 住み続けられるまちづくりを



【市の防災対策等について】

塩田 被災者が尊厳ある生活を営める最低基準を示すス

ファイア基準の導入を掲げ、支援現場から避難生活の質の向上を目指し取り組む必要があると考える。熊本地震では、建物の崩壊などによる直接死より、避難生活に伴う体調悪化で亡くなる災害関連死が4倍以上だったことを考えると、避難所の環境改善は重要だと思いが見解は。

総務部長 本市においては、スファイア基準を参考に、仮設トイレおよび冷風機の設定により、避難所の環境改善およびプライバシーの確保に努めてきたところです。今後、同基準による避難所の質の向上を目指し、保存水やアルファ化米等の不足する災害物資やスポットクーラー等の購入を計画しています。

塩田 能登半島の災害ボランティア活動に参加された方より、参加する上で問題点があったと伺ったが、原因として、担当部署が明確でない、情報共有が不十分、担当者の

態勢？

人員不足等が考えられる。このような問題を防ぐために、ワンストップサービスを導入することで、ボランティアに関する問い合わせを1か所にし、手間を省くことができる。と考えるが、見解は。

市長 災害ボランティアに参加された方の意見は、私も直接聞く機会がありました。様々な課題があることは認識しており、ボランティアの受け入れ体制や運営について研究していきたいです。

【本と歴史の交流館「イコット」について】

塩田 維持管理費の総額は。
教育部長 令和6年度の維持管理費は、人件費および図書購入費等を含め、3697万円程度を見込んでいます。

塩田 指定管理者制度を導入する考えは。

教育部長 開館間もなく、まずは、基本方針に沿った運営を主眼に置き、実質的な業務量や費用を把握するためにも直営を行いながら指定管理者導入の可能性を検証する必要があります。と考えるています。



衛星による漏水検知技術の活用について計画はないのか

西本 輝幸 議員

11 住み続けられるまちづくりを



A 調査研究していきたい

【衛星による漏水検知技術の活用について】

西本 水道事業は単独採算が原則ですが、少子高齢化も進み、給水人口の減少による水道料金の収入も減少し、更に水道管の老朽化も進み水資源にも乏しく、人口密度も狭く使用料も20トン単位で試算すると、全国では5番目に高い水道料金となっている。このような状況の中で、水道管の老朽化による漏水箇所が見られ、有収率も類似団体と比較すると平均値が低く水資源の浪費にもなるので、新技術A-Iを活用され有収率の向上に利用できないのか聞きたい。

水道局長 新技術を活用した調査については、漏水の早期発見が見込まれることから、近隣市町との連携等について調査、研究をしていきたいです。

西本 有収率は約79%とのことだが、漏水量を水道料金に換算するといくらかになるのか。

水道局長 有収率の算出基礎となる水量から水道料金の対

象となった総有収量を差し引いた数量は、令和5年度の漏水分は57万5857トンとなっています。本市の水道料金に換算すると、公共用、消防水使用料なども含まれていますが、1億6699万8530円となるものと考えております。

西本 水道管の総延長363kmを衛星画像を活用しA-I漏水調査を実施すると費用はどのくらいかかるのか。

水道局長 本市の水道管の総延長365kmを衛星画像を活用すると、調査に約620万円、現地調査に約630万円、税抜き合計約1250万円が必要となります。

西本 衛星を活用した漏水調査については、多額の費用が必要であるが、有収率の向上、水資源の浪費はもとより水道水は住民生活に必要不可欠なライフラインであり、今後もしも安心安全できる水道を安定的に供給するために、前向きに導入について検討をお願いしたい。

議員発議

委員会条例の改正について

状況を調査した結果、定数14人の市議会が32市議会あるうち、3委員会の市議会が1市議会、それ以外の31市議会が2委員会であった。このような状況を踏まえて、2委員会に統合することにより、委員数が増え、多様な視点から意見が出て議論が深まることから、市政に関する重要な事項の審査・決定する議決機関としての機能向上につながると考える。

12月20日の本会議において、議会運営委員長の何川雅彦議員より、上天草市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について議員発議があり、採決の結果可決されました。主な改正点は、常任委員会数を現行の3委員会から2委員会へ変更するもので、また、それに伴い、委員会の名称および所管を変更するものです。なお、次期任期（令和7年5月1日）からの適用となります。

【改正の趣旨】

何川 本市議会では、令和7年4月の通常選挙から議員定数が2名削減され14名となる。そこで、全国の同様の市議会の

①総務常任委員会（6人）

【所管】総務部・企画政策部・市民生活部・会計課・監査委員事務局

②経済建設常任委員会（5人）

【所管】経済振興部・建設部
農業委員会事務局

③文教厚生常任委員会（5人）

【所管】健康福祉部・教育部・水道局
上天草総合病院

④議会運営委員会（7人）

①総務産業常任委員会（7人）

【所管】総務部・企画政策部・経済振興部・建設部・農業委員会事務局・水道局・会計・監査委員事務局

②文教厚生常任委員会（7人）

【所管】市民生活部・健康福祉部・教育部・上天草総合病院

③議会運営委員会（5人）



賛否表

主な議案などの賛否について、下記のとおり公表します。

議案番号	議案名	結果	表決数	北垣洋	井手口隆光	木下文宣	何川誠	塩田真一	嶋元秀司	田中辰夫	何川雅彦	宮下昌子	西本輝幸	高橋健	小西涼司	田中万里	桑原千知
議案第82号	上天草市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	11-0	○	/	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第83号	上天草市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	11-0	○	/	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第84号	令和6年度上天草市一般会計補正予算（第7号）	可決	11-0	○	/	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第92号	工事請負契約の変更について	可決	11-0	○	/	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-

○賛成 ●反対 /欠席 -議長は除く

上天草市の未来のために

～政府要望・政策勉強会を実施～



▲金子衆議院議員

11月18日から19日の2日間、議長および議会運営委員の8名は、東京都の議員会館を訪問し、学校給食費の無償化および水道基盤強化に関する要望活動を行うとともに、総務省より講師を迎え「郵便局の地域における利活用」について勉強会を実施しました。



▲（左から）松村参議院議員、馬場参議院議員、西野衆議院議員、政策勉強会

議会報告会を開催

総務常任委員会 × 地域おこし協力隊

総務常任委員会では、11月6日（水）に大矢野庁舎において、OBを含めた地域おこし協力隊と「地域おこし協力隊の現状と定住への課題について」をテーマに議会報告会を開催しました。まず、活動状況の報告行っていただき、任期満了後の定住に係る課題について意見交換を行いました。その中で、「定住に関しては、仕事の問題が大きい。任期後は、現在実施している活動だけで生活していくのは厳しく、他に職を探す必要があると感じている。」などの意見がでました。このような意見交換を経て、委員会としては、今後も現状把握に努めながら調査を重ね、政策提言につなげていくこととしています。



▲議会報告会（総務常任委員会）



経済建設常任委員会 × 熊本県猟友会上天草支部

経済建設常任委員会では、1月14日（火）に大矢野庁舎において、熊本県猟友会上天草支部と「有害鳥獣対策の現状と課題について」をテーマに議会報告会を開催しました。意見交換会の中では、「 」などの意見が出ました。このような意見交換を経て、委員会としては、今後も現状把握に努めながら調査を重ね、政策提言につなげていくこととしています。



▲議会報告会（経済建設常任委員会）



議会の主な動き

11月

1日 国県道県知事要望活動
18日～20日 国会要望・議会運営委員会研修会
22日 議会運営委員会
24日 社会福祉大会出席
28日～12月20日 第6回上天草市議会定例会

12月

1日 本渡道路Ⅱ期中心杭打式出席
15日 シーライン構想推進大会出席

1月

3日 二十歳の記念式典出席
5日 消防出初式出席
16日 県市議会議長会研修会参加
17日 議会運営委員会
18日 島原・天草・長島架橋構想および九州西岸軸構想推進大会出席
23日～24日 常任委員会行政視察（佐賀県多久市・福岡県糸島市）
25日 熊本天草幹線道路島民集会出席

ご意見・ご感想を募集します

議会だより「えがお」に対する皆さまのご意見・ご感想を募集します。

皆さまのご意見等を参考に、紙面のさらなる充実をめざしますので、よろしくお願いいたします。

■応募方法 ハガキ、封書、メール、ファックスによりお送りください。

■記入事項 ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④ご意見・ご感想

■宛 先 〒869-3692 上天草市大矢野町上1514 上天草市議会事務局
FAX：0964-56-4936 E-mail：gikai@city.kamiamakusa.lg.jp

■お問い合わせ先 上天草市議会事務局 TEL：0964-26-5536



笑顔が
やうり

松島町

光雲寺に年始参りされた檀信者のみなさん



笑顔 あふれ
幸多き年で
ありますように！



まちを歩いて…

姫戸町

無病息災を願って

取りますか？

どんど焼きとは、小正月、すなわち1月15日（あるいはその前後）に行われる火祭りの行事で、地方によってその名称は多彩です。天草各地では7日に行われる、「鬼火焼き」がなまったもので、どんど焼きのこと。「悪い所をたたくと病気が早く治る」と伝えられています。姫浦神地区では1月12日（日）に行われ、二間戸地区では“ぜんざい”が振舞われました。



▲姫浦神地区



▲二間戸地区



次の定例会は 2月12日開会です。

テレビ・インターネット中継もご利用いただけます！

詳しくは議会事務局へ 0964-26-5536

編集後記

早いもので新たな年を迎え、1か月が経ちます。歳を重ねるにつれて、月日が流れるのを早く感じます。このことは、フランスの哲学者ジャネーが解説されていて、5歳にとつての1年は、人生の5分の1ですが、50歳にとつての1年は、人生の50分の1です。つまり、5歳の頃に感じた1年の長さは、50歳の10年経つ長さと同等で、10倍の速さで1年が流れているように感じるそうです。また、小さい頃は新しく経験することが多く、長く感じられるそうですが、大人になると、様々な経験をしているため、「慣れ」が出て、短く感じられるそうです。しかし、歳を重ねても、新たな体験やいろいろなことにチャレンジをすることで、月日の流れが体感的に緩やかになり、充実した人生を過ごせるそうです。私も市議会議員となり4年が経とうとしています。最初の頃は、審議する議案のあまりの多さに「早く慣れなければ」と自分に言い聞かせていましたが、今は、「慣れはダメだ」と言い聞かせています。日々の生活を大切に送り、充実した審議が行えるように努めています。結びに、本号は現広報委員での最後の発行となります。ご愛読ありがとうございました。

上天草市議会 広報編集委員会

委員長 宮下 昌子
副委員長 北垣 洋
委員 井手口 隆光
塩田 真一
何川 誠
小西 涼司